

日本マクロエンジニアリング学会 立ち上げから国際会議開催まで

顧問 新田義孝

企画委員⇒企画委員長⇒事務局長⇒理事長⇒会長
(四日市大学名誉教授)

一橋大学経済学部教授 中川學先生

1984年の夏？どこからかお声がかかり、日比谷高校の‘星陵会館’に集合とのこと。

「日本マクロエンジニアリング学会を立ち上げる。今日お集まり戴いた方々、全員理事です。」 ???

サロン・ド・マクロ

- 毎月一回、有楽町の某会議室で、軽食をつまんで、持ち回りの話題提供：
- 3年ほど続いた？
- 毎回20名程度の参加。

マクロエンジニアリングの対象は？

- 宇宙の経済；**長友信人教授**（[東京大学宇宙航空研究所](#)（1964年設立）
⇒[宇宙科学研究所](#)（2012年改称）：JAXA
- 大規模輸送：**京谷好泰氏**：超伝導リニア（宮崎実験線）
- 都市プロジェクト：**菊竹清訓氏**：1970年大阪万博：[エキスポタワー](#)、
1975年沖縄海洋博：[アクアポリス](#)、1985年つくば科学万博：マスタープラン作成委員としてBブロックの会場計画および外国館の設計を担当、[2005年日本国際博覧会](#)（愛知万博）では総合プロデューサーとして会場計画を担当等々。
- 大規模輸送（その2）：**持田 豊氏**（**工学者、鉄建公団 青函建設局長**）
青函トンネル、ドーバートンネル
- 地球環境、情報システム、ミレニアムコンセプト、スペースポート、海洋開発など

地球環境と 新スーパーハブ構想



日本マクロエンジニアリング学会 編

1996年のシンポジウムをとりまとめ
1997年、富士通出版
から刊行。

- はじめに
- 第I部 日本型ハブシステムの構想**
- 第1章 グローバル経済とマクロエンジニアリングによるハブシステム構築
 - 第2章 環境問題からみたハブシステム
 - 第3章 ハブシステムと日本
 - 第4章 社会・文化的観点からみたハブシステム
- 第II部 ハブシステム構想のコアテクノロジー**
- 第5章 リニアモーターカーの現在
 - 第6章 テクノスーパーライナー
 - 第7章 鹿島瀬人工列島の創造
 - 第8章 海上空港での多機能型電力貯蔵構想
 - 第9章 夜間電力貯蔵エネルギー供給機能
 - 第10章 交通ネットワークとコミュニケーションインフラの整備

日本マクロエンジニアリング学会 編
FUJITSU BOOKS

Japan-IRRI Day in Tokyo 国際稲研究所日本交流会

Japan's key role in Asian agricultural research and development



Japan-IRRI Day Executive Committee
Japan Macro-Engineers Society

1995年
11月25日
日経ホール

逸見謙三委員長

タイ国
シリントーン王女の
特別講演

まとめ

バブル期：壮大な夢が叶う。それは巨大科学技術による。

⇒宇宙、海洋、縦型都市構造、リニア、
トンネルによる大陸連携 等々

シンポジウム、国際会議 中国三峡ダム視察旅行 等々で国際化

バブル崩壊と巨人たちの逝去 世代交代

⇒ 地球環境、リサイクルなど

☆エンジニアリングから経済工学へ